

第156回  
定時株主総会  
当日説明資料  
(ご参考)

# ～ 本資料で引用する招集ご通知について～

本資料で引用している招集ご通知のページ数は、弊社ウェブサイトに掲載している、「第156回定時株主総会招集ご通知」に基づいております。

「第156回定時株主総会招集ご通知」は下記リンクからご覧いただけます。

第156回定時株主総会招集ご通知URL:

<https://www.yasuda-soko.co.jp/LinkClick.aspx?fileticket=brZ2ylVW3ys%3d&tabid=133>

# 1. 企業集団の現況に関する事項

---

## 日本経済

物価上昇・中東地域をめぐる情勢・金融引締め  
中国経済の先行き懸念など景気の下振れリスク

賃上げや企業による投資意欲の高まりなど  
デフレ脱却に向けて前向きな動き

## 倉庫物流業界

- 国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きは低調に推移
- エネルギー・原材料価格高騰の影響
- 労働力不足への対応

## 不動産業界

- オフィスビルの空室率は高い水準で継続

依然として厳しい状況で推移

## 物流事業

### 事業基盤の強化

- 付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充による取引の拡大
- 物流施設の増強  
加須営業所の開設 等

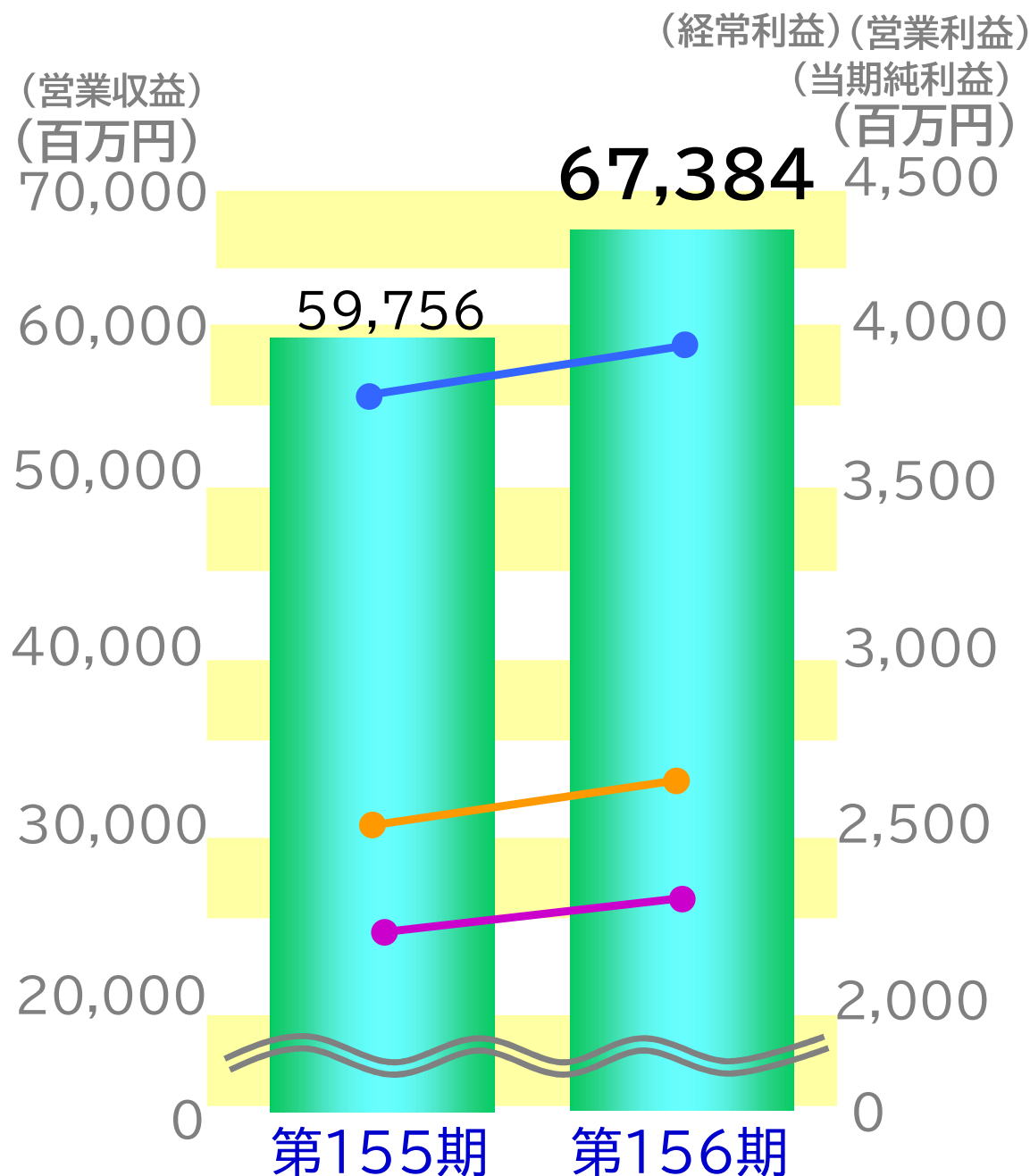
## 不動産事業

### 稼働率の維持・向上

- 保有不動産の維持管理
- 保有不動産の価値向上施策

### 保有不動産の再開発促進

# 当連結会計年度の業績



営業収益

67,384百万円

前期比7,627百万円増  
( 12.8 %増)

営業利益

2,642百万円

前期比108百万円増  
( 4.3 %増)

経常利益

3,951百万円

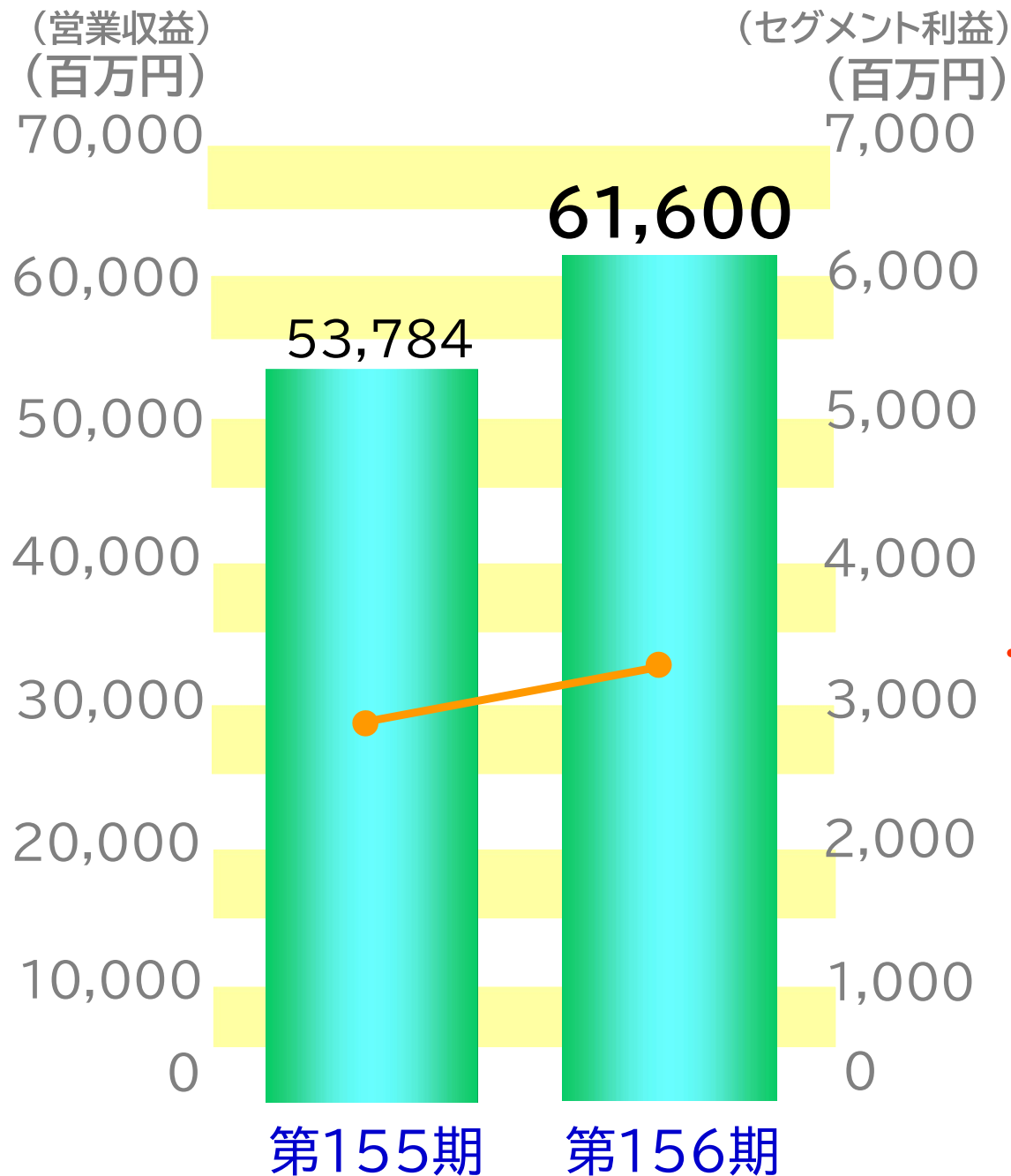
前期比174百万円増  
( 4.6 %増)

親会社株主に  
帰属する  
当期純利益

2,302百万円

前期比56百万円増  
( 2.5 %増)

# 物流事業の業績



営業収益

**61,600百万円**

前期比7,815百万円増  
( 14.5 %増)

セグメント利益  
(営業利益)

**3,346百万円**

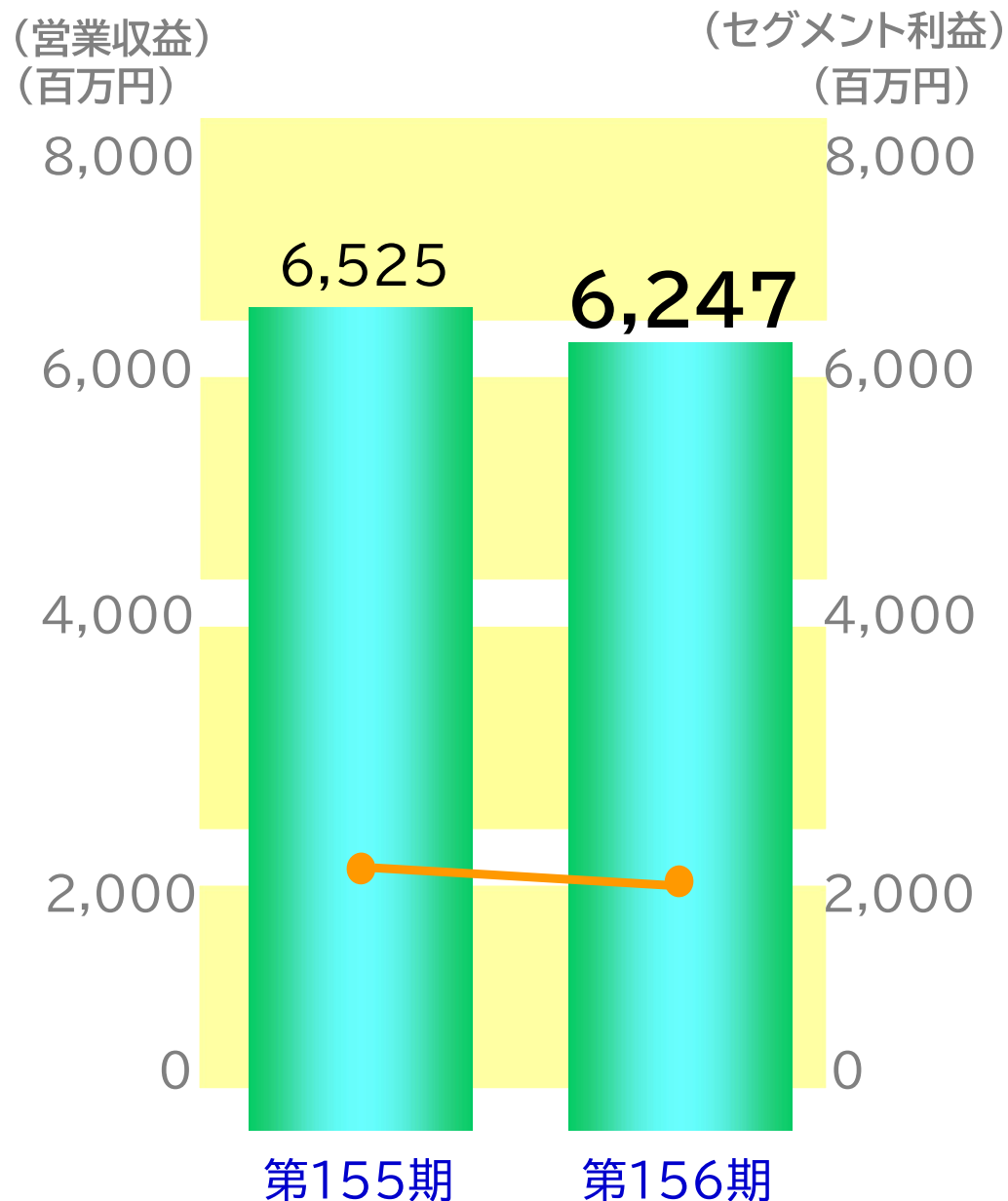
前期比387百万円増  
( 13.1 %増)

- 新規の取引開始や既存顧客の取引拡大  
輸配送ネットワークの拡充





# 不動産事業の業績



営業収益

6,247百万円  
前期比278百万円減  
( 4.3 %減)

セグメント利益  
(営業利益)

2,041百万円  
前期比20百万円減  
( 1.0 %減)

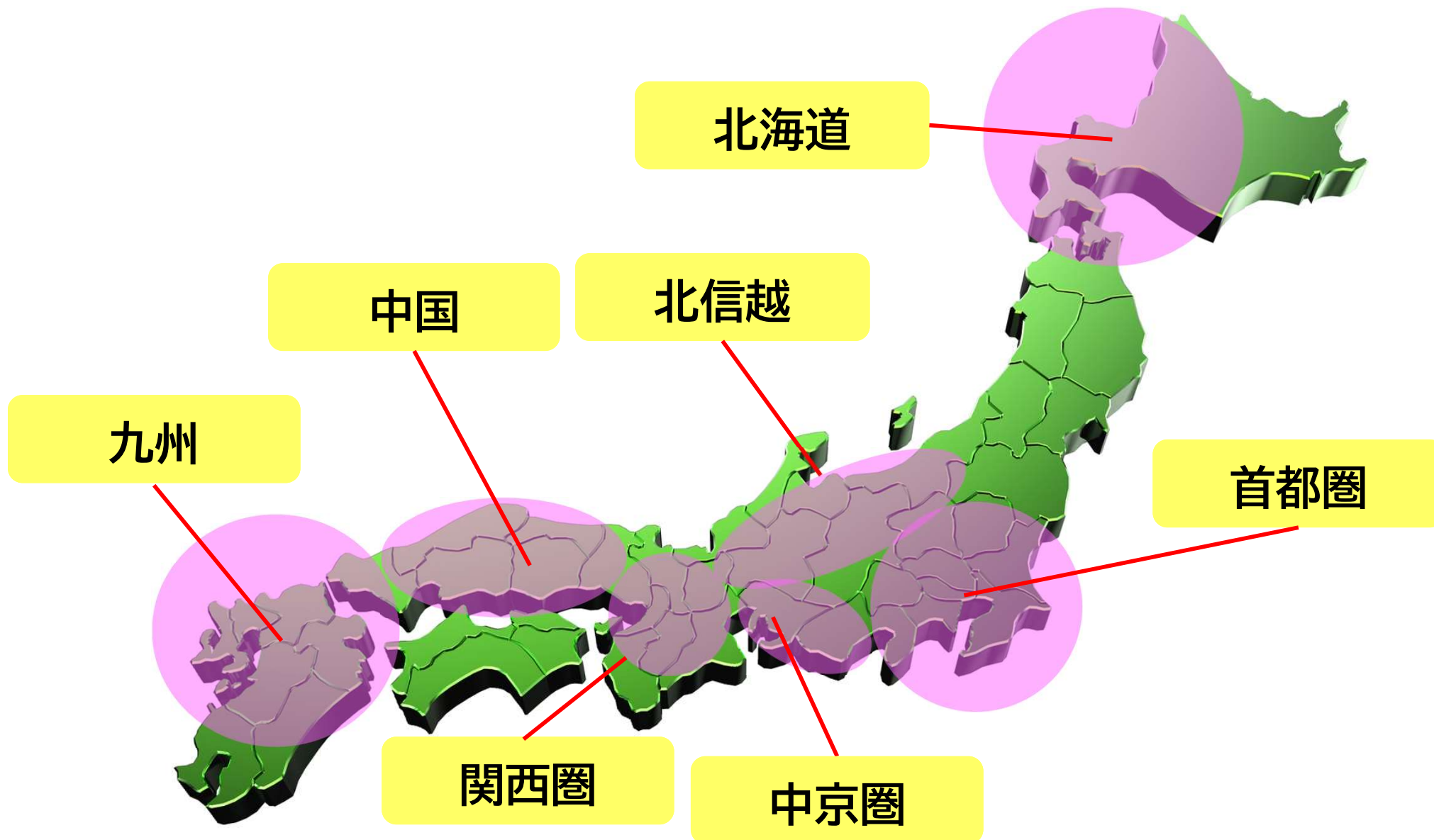
- ・ 施工工事の減少による影響



## 2. 企業集団の主要拠点等

---

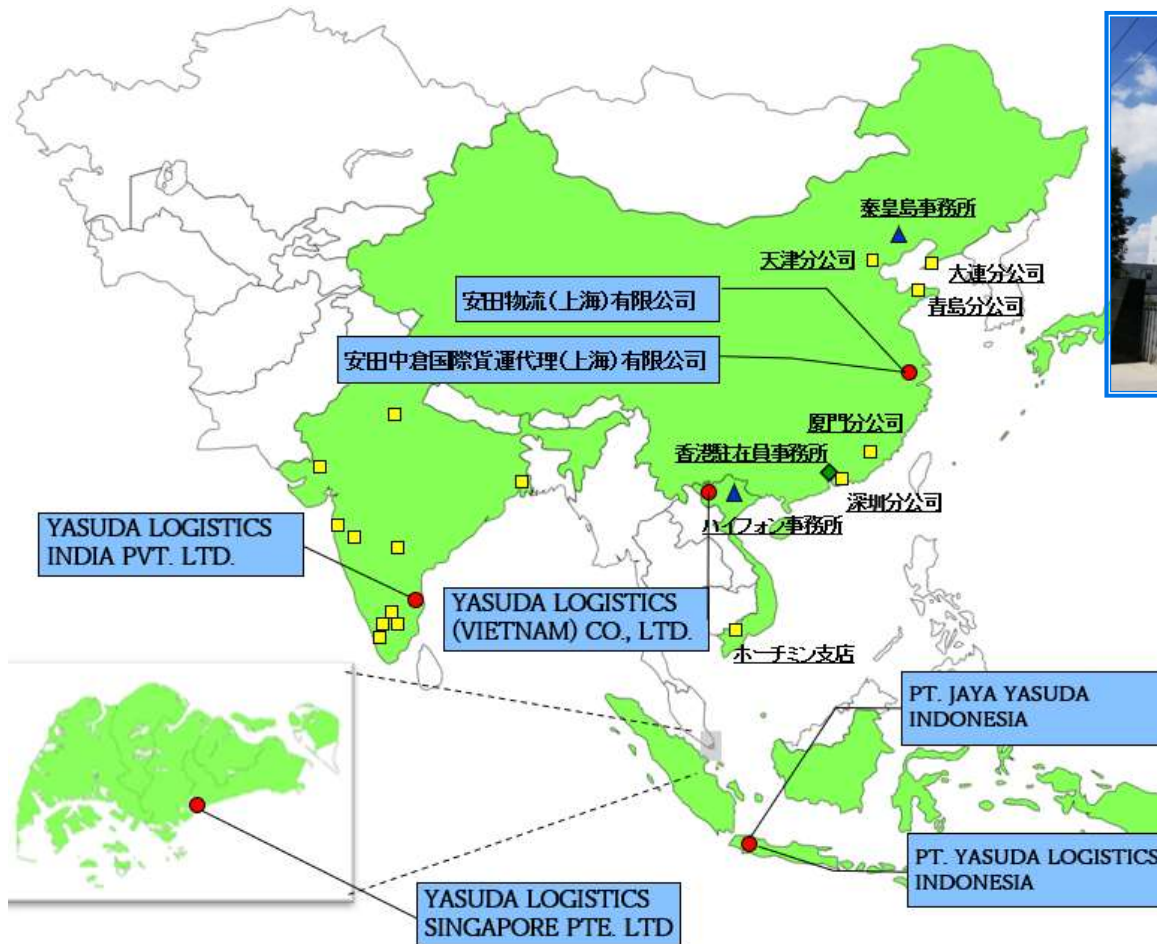
## ■ 国内事業拠点



# 主要拠点



## ■ 海外事業拠点

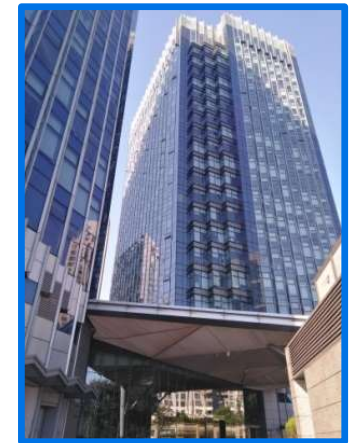


- 海外現地法人
- 現地法人分公司／支店
- ▲ 現地法人事務所
- ◆ 駐在員事務所

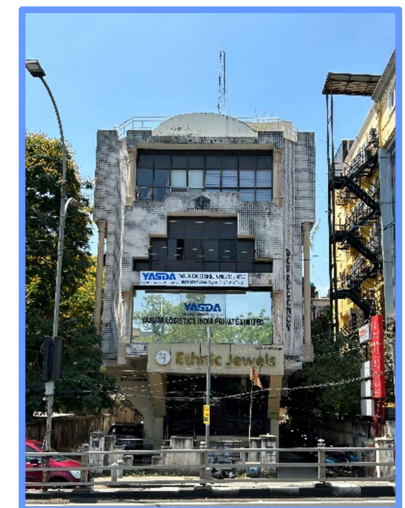
安田物流(上海)有限公司



安田中倉国際貨運  
代理(上海)有限公司



YASUDA LOGISTICS  
SINGAPORE PTE. LTD.



YASUDA LOGISTICS  
INDIA PVT. LTD.

# 3. 連結計算書類等

---



第156回招集ご通知 38ページ～40ページ

連結貸借対照表、連結損益計算書、  
連結株主資本等変動計算書

第156回招集ご通知 41ページ～43ページ

貸借対照表、損益計算書、  
株主資本等変動計算書

当社ウェブサイトに掲載

連結注記表、個別注記表

## 4. 会社の体制及び方針等

---

**第156回招集ご通知 35ページ～37ページ**  
業務の適正を確保するための体制及び  
運用状況の概要

**当社ウェブサイトに掲載**  
株式会社の支配に関する基本方針

**第156回招集ご通知 37ページ**  
剰余金の配当等の決定に関する方針



## 第156回招集ご通知

27ページ～34ページ

会社の株式に関する事項

会社の新株予約権等に関する事項

会社役員に関する事項

会計監査人の状況

# 5. 対処すべき課題

---

**世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で  
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す**



## ■中期経営計画

# 変わらず、変える。

## YASDA Next Challenge 2024

## ■基本方針

最先端テクノロジーと人間力を融合した、  
「YASDA Value」で多様化する社会とお客様ニーズに応える。

YASDA Value = お客様の声に真摯に耳を傾け誠実にお応えする安田倉庫グループで共有する価値

## ■基本目標

### 業績目標

営業収益  
**650億円**

営業利益  
**40億円**

経常利益  
**48億円**

営業利益率  
**6%**

### 物 流

お客様のビジネス環境に合わせた  
最適なサービス提供と、  
既存の物流の領域に捉われない  
新サービスの創造

### 不動産

保有不動産の再開発による  
収益基盤の更なる強化

### 経営インフラ

社会環境の変化にも  
柔軟に対応できる  
サステナビリティ経営基盤と、  
確固たる現場力・人間力の確立

## ■基本戦略

### 付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充

- ソリューション提案型営業の深化
- メディカル物流拠点の拡充と体制の強化
- IT機器ライフサイクルマネジメント業務体制の拡充
- EC物流サービスの拡充
- ワークスタイルの変化に適応したオフィスサポートの事業転換
- 国内外の輸配送ネットワーク拡充
- 新しい物流技術・DXの活用による新サービス開発

### 保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じた事業拡大

- 芝浦地区、横浜地区の保有不動産再開発
- お客様ニーズに応じた施設の適切なメンテナンスと機能向上

### 「YASDA Value」に磨きをかけるための経営インフラの高度化

- 多様な人材活用と専門人材育成
- 働きやすい環境の更なる整備
- DXの基盤としての情報システム高度化
- グループ連携の強化
- ステークホルダーの持続可能な発展に貢献するサステナビリティの取組み推進
- コンプライアンス、リスク管理の徹底とガバナンス強化
- サービス品質の維持・向上に向けた品質管理体制と現場力強化
- 事業基盤の災害強靱化と防災徹底
- 規律ある財務運営と成長投資の両立
- YASDA Next Challenge (新規事業・新規施策)



## 倉庫・輸配送ネットワークの全国への拡大

### ■「加須営業所」開設



埼玉県加須市において「加須営業所」を開設



医薬品専用の輸配送網と、医薬品管理に必要な  
GDPに対応した新たな医薬品物流拠点として、  
医薬品物流サービスの更なる拡大を図ってまいります

## 倉庫・輸配送ネットワークの拡大

### ■株式会社オリエント・サービスのグループ会社化



愛知県春日井市を拠点とする

株式会社オリエント・サービスをグループ会社化



物流ネットワークを共有することで生まれるシナジーで  
サービスメニューの更なる拡充を目指します

## 海外・国際物流サービスの拡充

### ■シンガポール及びインドにおける新会社の設立

シンガポール及びインドにおいて、フォワーディング事業を目的とする新会社を設立し、現地の物流会社から全営業権を譲り受けました

社名： YASUDA LOGISTICS SINGAPORE PTE. LTD.

社名： YASUDA LOGISTICS INDIA PVT. LTD.

### ■中国・広東省の深圳市にフォワーディング拠点を開設

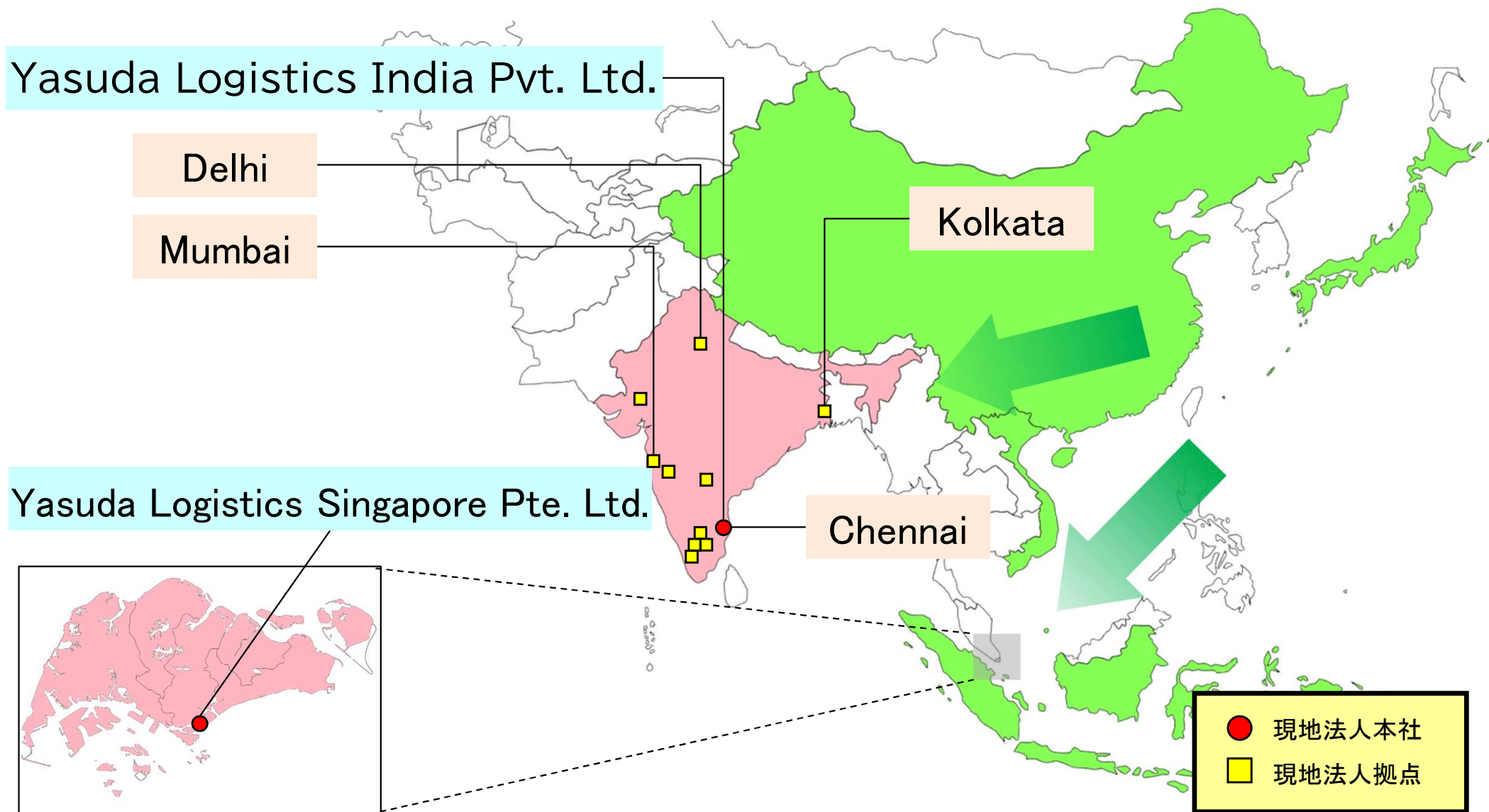
連結子会社である安田中倉国際貨運代理(上海)有限公司が中国・広東省の深圳市において、フォワーディング拠点となる「深圳分公司」を開設いたしました





## 海外・国際物流サービスの拡充

### ■シンガポール及びインドにおける新たな海外拠点の展開

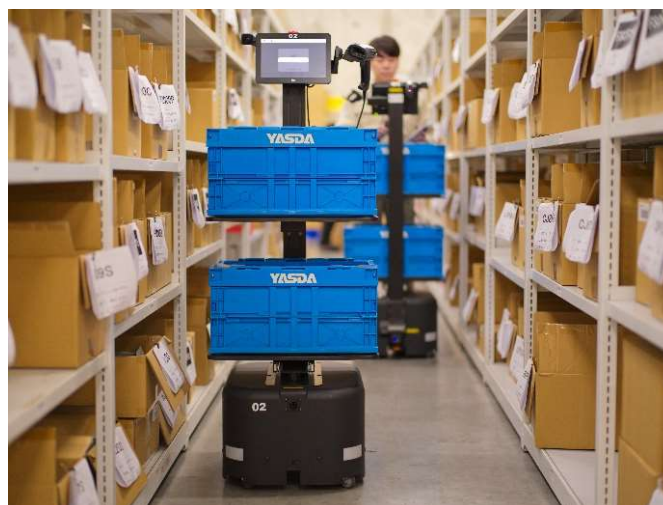


## DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- 倉庫内作業の省人化・省力化を目指し、  
倉庫現場にロボットを順次導入



AGV(自動搬送車)



AMR(自律走行搬送ロボット)



無人搬送フォークリフト

- 「DX認定事業者」の認定取得



DX認定

安田倉庫のDXに関する取組みなどが評価され、  
2023年11月1日付で、経済産業省が定める「DX  
認定制度」に基づき、「DX認定事業者」の認定を  
取得しました。

## サステナビリティへの取組み

### ■TCFDの提言に賛同を表明

気候変動が当社グループの事業活動に  
与える影響に関する情報をホームページに開示  
また、2030年度までのCO<sub>2</sub>排出量削減目標を設定



### ■当社グループの人権方針を策定し、 加えて国連グローバル・コンパクトに加盟



### ■健康企業宣言東京推進協議会より、 「健康優良企業 金の認定」を取得

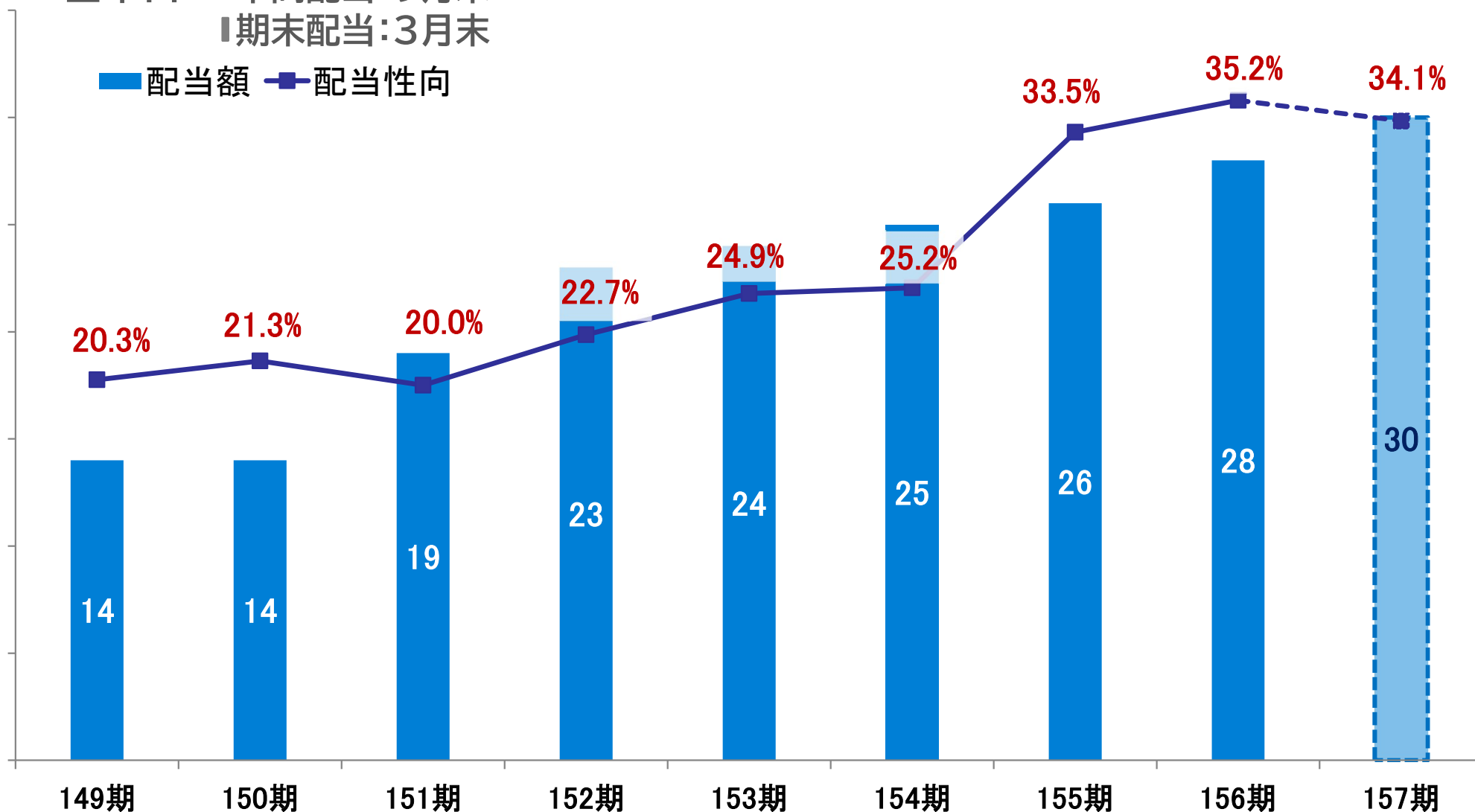


# 対処すべき課題( 配当金について)

■安定的且つ継続的に利益を還元し、  
連結配当性向30%以上を目標とする

<基準日> ■中間配当:9月末  
■期末配当:3月末

予想:30円  
(中間:15円)



第156回  
会 総 主 株 時 定  
項 事 議 決

---

## 第1号議案 第156期剰余金処分の件

期末配当金

1株につき14円50銭

中間配当金とあわせ

1株につき年間28円

詳しくは第156回招集ご通知の[5ページ](#)をご参照ください



## 第2号議案 取締役9名選任の件

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 藤井 信行 | 5. 井福 正博 |
| 2. 小川 一成 | 6. 曾禰 寛純 |
| 3. 武藤 博幸 | 7. 周藤 晴子 |
| 4. 松井 正  | 8. 東山 克之 |
|          | 9. 野上 宰門 |

詳しくは第156回招集ご通知の6ページ~15ページをご参照ください

## 第3号議案 補欠監査役1名選任の件

吉田 宏二

詳しくは第156回招集ご通知の16ページをご参照ください

ありがとうございました

